

特集

ラテンアメリカ史の魅力

小原 正

ラテンアメリカの歴史を研究するためには、当然、現地
の文書館に通い、資料調査を行なう必要がある。そして現
地での資料調査には、困難と思いがけない喜びが伴う。

私の場合は、メキシコとグアテマラのいくつかの文書館
に足かけ十年ほど通った。数年前、グアテマラ・シテイで
の資料調査を終え、メキシコ国境へとバスを乗り継いで向
かっているとき、連日の大雨による土砂崩れで山道が一部
通行できなくなってしまった。渋滞ができ、三〇分か一時
間ほどはバスの中で待った。あまり時間がたつと夜になっ
てしまう。不安に思っていると、まわりの乗客が自分の荷
物をもって、どんどんバスを降りはじめた。わけを聞くと、
土砂崩れの上を歩いて渡り、向こう側で待っているバスに
乗り継ぐことにしたのだという。私もリュックサックを背負
い、スーツケースを抱えて、一緒に行くことにした。歩いた
のは二〇分か三〇分ほどだったと思う。途中、ぬかるんだ土
砂に足をとられ何度も転びそうになり、しま

いには重いスーツケースを土砂の上に落としてしまった。
もし足を滑らせて下のほうに落ちれば、そこは山の急斜面
で助かりそうにない。私は急に怖くなってしまった。けれ
ども次の瞬間、近くを歩いていたグアテマラ人の男性が寄
ってきて、何も言わずにスーツケースを拾いあげ、一緒に
横を歩いてくれたのだった。

本特集で執筆をお願いした川上英先生と佐藤正樹先生
も、メキシコやペルー、ボリビアでアクセスの困難な現地
の文書館に通い、資料調査をされてこられた方々である。
今回、お二方には現地での苦労話や体験談ではなく、それ
ぞれの研究テーマについて書いていただいた。読者の方々
には、その研究対象となっている地域の現在、そこを旅し
ているお二方の姿を想像しながら、それぞれの論考を讀ん
でいただきたい。

〔おぼろ 〕 ただし 慶應義塾大学経済学部専任講師、メキシコ
近世史専攻〕

2017
10

三色旗

No.814

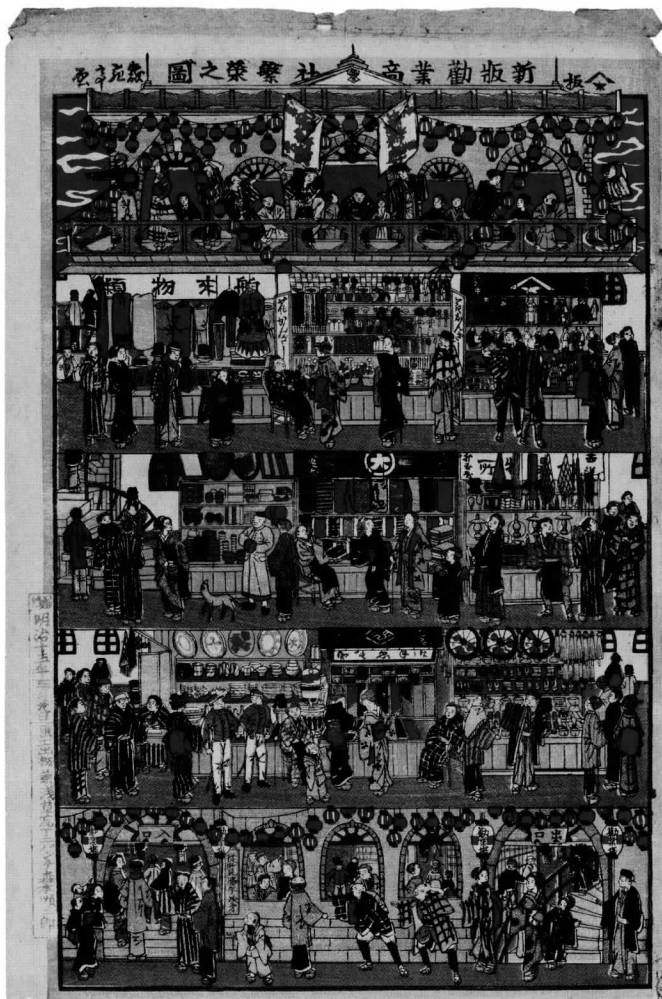
特集：ラテンアメリカ史の魅力



S
A
N
S
H
O
K
U
K
I



編集人 慶應義塾大学通信教育部 東京都港区三田 2-15-45
発行所 慶應義塾大学出版会株式会社 東京都港区三田 2-19-30
印刷所 図書印刷株式会社 東京都北区東十条 3-10-36



幾蔵亭「新版勸業商社繁栄之図」
明治15年（1882）3月 森本順三郎 縦大判錦絵（慶應義塾図書館所蔵）

※表紙は左下「入口」部分の拡大図

